

飛翔

発行責任者
平塚MAC
今込 祐弘



新春メッセージ

皆さん参加でMACも元気

会長 今込祐弘

皆さま明けましておめでとうございます。お健やかに令和4年の新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。今年の干支は五黄の寅。イメージの如く勢いの良い明るい一年になってほしいものです。

さて因みに今年、令和4年は明治から数え154年目になります。

なんと偶然にもその「中間点」がちょうど昭和20年の終戦の年でした。

明治維新から新国家の建設が始まり開花しましたが、やがて77年目には敗戦により全てが崩壊して終わりました。終戦を転換期として再生し、今年がちょうどまた77年目です。



戦後の復興期、高度経済成長期、バブル崩壊と我々は共にこの時代を生きて来ました。誰しも思い馳せれば感慨深いものがある事と存じます。

折しもコロナ感染症の拡大や更にオミクロン株の追い打ち、一方、核の拡散やAIシステムの発展、地球温暖化や日本の人口減少とこれからの時代はどうなっていくのでしょうか。

さて、出口の見えないコロナ禍の昨今ですが、その中でも昨年は国内世論を二分する形で東京オリンピックが強行されました。多くの人々が感染拡大を懸念しましたが、経済活動やI・O・Cの意向が優先された模様です。しかし、選手たちのメダルラッシュにより反対の声もだんだん小さくなってしまいました。

経済効果も上がらぬ内に今度は押し詰まってる総選挙。新政権にはぜひとも、非正規雇用など経済格差の是正を、働き世代の為に急いでもらいたいものです。昨年、なかでも最大の明るいニュースは、大谷翔平選手の衝撃的な活躍。日本は

かりでなく世界にも歓喜を与え、これこそが正にANGELでした。処で会員の皆さん、お変わりなくお過ごしですか。思えば創立20周年が成ったと同時に新型コロナウイルス感染症が始まってしまいました。制約を受け一部の会は休止していますが、心配の少ない部会は感染症を吹き飛ばす勢いで活動しています。

ですが、部会の活動が偏っている為に会員同士の交流が疎遠になっていく方が気にかかります。この状況下では多くは望めませんが、チョツとだけ、一回でもどこかの会に参加いただけませんかでしょうか。

囲碁を楽しむ会 熱戦で一年を締め括る

東後の「新たな平塚MAC」としての在り方や方向性を一度皆で考えてみるのも如何でしょうか。いま新たなオミクロンという変異株も出現し第6波への警戒が不可欠ですが、必ず明るい夜明けが来ることを信じましょう。一日も早く平穏な世の中に戻ることを祈念致します。

十二月十七日、「囲碁を楽しむ会」は恒例の囲碁大会を中央公民館で行いました。参加者は十名、日ごろの精進の成果を発揮して賞品をゲットしようとして張り切ったのでみましました。三つのグループに分かれて戦い、村松さん、武次さん、井澤さんがそれぞれ優勝されました。



当面のスケジュール

1月13日 (木)	パソコン勉強会
1月17日 (月)	パークゴルフの会
1月27日 (木)	パソコン勉強会
1月31日 (月)	パークゴルフの会
2月10日 (木)	パソコン勉強会
2月17日 (木)	学習会 (波力発電)
2月24日 (木)	パソコン勉強会
2月28日 (月)	パークゴルフの会
2月4日、11日、18日、25日 (金)	囲碁を楽しむ会

どの対局も熱戦でしたが、中でも武次さんと笹ヶ瀬さんの対戦のレベルが高く、見るべきものがありました。優勝の武次さん、準優勝の笹ヶ瀬さん共に実力者の見応えある勝負が会場を沸かせました。すべての対局後、表彰式とこの一年の納会が行われ、全員が日ごろの勉強方法や感想を語り、親睦を深めました。今年はコロナの影響で参加数の少ない日もありましたが新規の入会者それも上級者が多かったため、実りの多い一年となりました。

及川 慎也 記